

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-131	A-135	24-028	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Prenatal Exposures, Diagnostic Outcomes, and Life Experiences of Children and Youths with Fetal Alcohol Spectrum Disorder 胎児性アルコールスペクトラム障害の子供と若者における出生前曝露、診断結果、および生活経験			
執筆者			
Popova S, Dozet D, Faulkner MR, Howie L, Temple V.			
掲載誌			
Nutrients. 2024 May 28;16(11):1655. doi: 10.3390/nu16111655.			
キーワード			PMID
胎児性アルコールスペクトラム障害、胎児性アルコール症候群、出生前アルコール曝露、出生前薬物曝露、罹患率			38892588
要 旨			
目的： 胎児性アルコールスペクトラム障害 (FASD) の子供や若者は様々な健康への悪影響や社会的問題を持つ可能性がある。本研究はカナダのブリティッシュコロンビア州のサニーヒルセンターで FASD と診断された子供と若者の特性や結果を調査し、出生前の物質曝露、FASD 診断ならびに健康や社会的な悪影響との関連を調査した横断的研究である。			
方法： FASD と診断された 2-19 歳の 1187 人の子供と若者の患者のカルテデータを用いた。平均年齢は 9.7 歳であった。データは診断時の情報に基づいて抽出され、ロジスティック回帰および線形回帰を用いて、出生前曝露と FASD 診断結果、健康および社会的結果との関連を分析した。			
結果： アルコールに加えて他の物質の出生前曝露があると、FASD 診断の重症度は有意に高かった (OR : 1.18)。特に、妊娠中のタバコ、コカイン、オピオイドの曝露で、FASD 発症率はそれぞれ 41%、75%、201%高かった。さらに、母親の精神的健康問題や栄養不良があると FASD の重症度がそれぞれ 60%および 6%高かった。			
結論： 妊娠中のアルコールおよび他の物質への曝露が、FASD の診断および健康・社会的結果に重大な影響を与えることが示された。特に、複数の物質の曝露により、FASD の重症度および関連する健康問題のリスクを高める可能性が示唆された。妊婦のアルコールおよび他の物質使用、精神的健康状態、および栄養のスクリーニングは非常に重要であると考えられる。			